

## 5 最近の薬物乱用に関する事件

平成28年2月、元プロ野球選手が覚醒剤を所持していたとして逮捕され、その後、使用容疑でも再逮捕された。

平成28年2月、京都府内で中学3年の男子生徒が高校生らと共に大麻を所持していたとして逮捕された。

平成28年10月、元女優らが自宅で大麻を所持していたとして逮捕され、自宅からはパイプ20本が押収された。

平成28年11月、茨城県内で高校生3人を含む少年計4人が大麻片を使うために持っていたとして逮捕された。



※掲載している画像はイメージであり、実際の事件・事故画像とは異なります。

## 6 社会の取組

### ①法の規制

- 平成26年4月から、個人での指定薬物の所持、使用、譲受け、譲渡しが禁止され、罰則が科せられることとなった。(医薬品医療機器等法)
- 平成27年1月から、販売店に対する警察官による立入調査、都職員による知事指定薬物の取去が可能となった。(東京都薬物の濫用防止に関する条例)

### ②啓発活動(一部紹介)

- インターネット検索キーワード連動型広告(「合法ハーブ」「脱法ドラッグ」等のキーワードを検索すると、薬物の危険性を訴える警告表示がされる。)
- ポスター、リーフレットの作成、配布
- 薬物乱用防止DVDなどの貸出
- 薬物乱用防止イベントの開催
- 講習会の開催

### ③薬物問題を抱える人に対する取組

#### ●行政機関 (精神保健福祉センター・保健所・就労支援施設など)

本人又は家族などに対して、精神障害や心の健康についての面接相談・継続的指導を行います。また、就職に向けての相談、準備、訓練等を行います。

#### ●自助グループ (DARC・家族会・ナラノン・NAなど)

薬物依存症という病気からの回復や社会復帰のために、適切な支援を行うリハビリ施設です。回復のためのプログラムやグループミーティングを行います。

#### ●医療機関 (精神科・薬物依存外来など)

専門的プログラムで治療を行います。

#### ●友人・家族・地域社会

薬物を断ち、薬物に依存しない生き方ができるよう支えていきます。

#### ●わたしたち高校生の取組

**薬物乱用防止教室、セーフティ教室等**  
薬物専門講師や警察の方などに来ていただき、薬物乱用防止の講義を受け、知識を深めています。

**薬物乱用防止高校生会議**  
薬物に関する知識や犯罪などの現状を知り、同世代の高校生に向けて薬物乱用防止を訴えていきます。

絶対に1人で悩んではいけません！！

## 7 薬物乱用防止高校生会議参加メンバーから皆さんへ

### 東京都立足立高等学校(指導教員:長谷川文夫、三村文恵)

#### 2年生(参加生徒7名)

- 薬物乱用防止高校生会議に参加して改めて薬物の危険を再認識することができました。成果発表では学んできたことをまとめたスライドを作成し、とても貴重な経験になりました。
- 自分達で調べたり薬物経験者の話を聞いたりして、薬物に1回でも手を出してしまうと友達や家族など周りの人達に迷惑を掛けるだけではなく、信頼を失うことも学びました。
- インターネットの普及により薬物問題は身近な問題になっていることを知りました。薬物乱用は何が危険で、どうすればいいのか、学んだことをもっと広めていきたいです。
- 薬物に手を出さない強い人間になろうと思います。
- 高校生会議で学んだ知識をこれからもたくさんの人に発信していきたいです。

#### 1年生(参加生徒5名)

- 会議に参加して、自分達の身近に薬物が潜んでいるということを感じました。薬物は身体に必ず悪影響を及ぼす物です。強い意志で断りましょう！
- 実際に薬物を使用した人の話を聞くことができ、薬物の深い知識を学びました。今回、人生で二度とないような貴重な体験ができ、学んだ知識を人のために伝えていきたいと思いました。

### 東京都立足立西高等学校(指導教員:橋詰真子、宇田尚人、佐々木宏明)

#### 2年生(参加生徒14名)

- 身近な人ほど断り方や対応が難しく、自分も慎重に考えなくてはいけないということ、今回の薬物乱用防止高校生会議で学びました。
- 今まで薬物は危険という認識はあっても身近なものではなく、深く考える機会はありませんでした。でも、このような会議をし、薬物乱用という重大な問題としてとらえることができました。
- 今回の会議ではなぜ危ないのか、使用したらどのようにしてしまうのか、その後はどうなるのか、具体的かつ詳細に理解することができました。
- 1人でも多くの人に、他人事にはせず、薬物の恐ろしさを分かってほしいと思いました。
- 私は、薬物に手を出さない自信がありますが、コンプレックスなどにつけ込んで誘ってくる人もいるそうです。もしかしたら、妹、友達など身近な人が手を出してしまうかもしれない。そういう風に考えた時に薬物乱用防止高校生会議が役に立つと思います。

#### 1年生(参加生徒1名)

- 薬物が身近にあること、それは誰も同じことであって、友達、家族、恋人も同じ状況にあることが分かりました。そして、彼らを思っ心配し、他人にも自分たちが経験したこと、学んできたことを共有しようとしている方と一緒に、お互いを心配し合い、薬物に悩まされている友達を解放してあげられる環境を共に作り上げられたらいいなと思いました。

### ●各種相談機関等

困ったときは、家族や先生そして下記の専門相談機関へ相談してください。

- 東京都立精神保健福祉センター ☎ 03 - 3834 - 4102
- 東京都立中部総合精神保健福祉センター ☎ 03 - 3302 - 7711
- 東京都立多摩総合精神保健福祉センター ☎ 042 - 371 - 5560

また、東京都福祉保健局ホームページでは、危険ドラッグについて分かりやすく説明しています。

ウェブサイト「みんなで知ろう危険ドラッグ」[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/no\\_drugs](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/no_drugs)



企画・制作 平成28年度薬物乱用防止高校生会議

東京都福祉保健局健康安全部薬務課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 TEL 03-5320-4505

ホームページアドレス

[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kenkou/kenkou\\_anzen/stop/index.html](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kenkou/kenkou_anzen/stop/index.html)



\*リーフレット作成にあたり、警察庁、警視庁、厚生労働省関東信越厚生局麻薬取締部、日本DARC、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターの協力を得ました。  
\*表紙の絵は、「薬物を乱用して、薬物をやめたくてもやめられなくなり後悔しているイメージ」を表現しています。

危ない誘惑  
断る勇気!  
Stop Drug!